

2023 年度春期 奨学生募集要項 【院生用】

1. 募集対象および担当窓口・受付時間

- ◇休学生・留年生・留学生は対象外。
- ◇「地方創生枠推薦者決定通知」を持っている院生は、4月17日(月)までに窓口へ提出してください。
- ◇学生生活課 奨学金窓口
- ◇電話：072-875-3069／3070（奨学金係直通）
mail：shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
- ◇平日 9時～17時 土曜 9時～12時 30分

2. 募集内容 ※封筒に入っているすべての書類に目を通してください。

名称	日本学生支援機構奨学金 https://www.jasso.go.jp/	
	第一種	第二種
種類	貸 与 (無利子)	貸 与 (有利子)
貸与額	(前期課程) 50,000円・88,000円 (後期課程) 80,000円・122,000円	5万・8万・10万・13万・15万 ※1年入学特別増額貸与奨学金制度あり
申請基準	1年：学科平均80点以上 2年：専攻上位1/3以上 ※サテライト1年生は、入学試験成績 とともに経済援助を要する学生	成績が特に優れ修学上、経済援助を要する学生
貸与期間	卒業最短修業年限（毎年12月に継続手続が必要）	
採用決定時期	7月上旬	
返還方法	卒業後10～20年間の月賦返還 (返還期間は貸与総額により異なる)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> * 機構「第二種」の利息は上限 3%となっており、修了後の8月頃、機構より利息が確定した返還開始書類が届きます。 * 地方自治体・各種団体奨学金などの募集があれば、随時、学内掲示します。 	

○日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構奨学金は、他機関の奨学金制度であり、【年2回4月、10月に募集⇒毎月、希望した奨学金額が振込 ⇒ 毎年12月、各自で継続手続（インターネット入力） ⇒ 大学で学業成績、機構で家計状況を審査 ⇒ 卒業最短修業年限まで継続】します。貸与のため、卒業月の翌月から数えて7か月目（10月）から返還が始まります。

3. 申請・採用日程

事項	日程	内容
申請書類入手	4月1日～	ダウンロード、または奨学金窓口配布(4/14まで)
申請書類提出	<u>4月17日</u> まで	17日必着(窓口提出もしくはレターパックライトまたは簡易書留にて郵送) 再提出を含めての締切日
スカラネット入力	<u>4月21日</u>	21日24時までに送信完了厳守・スカラネット入力用紙をもとに必要事項を各自でインターネット入力
採否決定時期	7月上旬	ポータルサイトで連絡します。
振込～本採用	7月11日	奨学金初回振込、以後毎月11日振込
	7月下旬	本採用書類とマイナンバー提出書を奨学金窓口で配布予定。 機構より書類が届き次第、ポータルサイトで連絡します。
	8月上旬	・返還誓約書の提出(大学) ・マイナンバーの郵送(機構) 返還誓約書を学校の定める期限までに提出しない場合、日本学生支援機構の規程により採用が取消され、既に貸与された奨学金の一括返還が必要です。 すべての手続きが完了すれば 本採用 です。
質問・相談	随時	窓口、電話、メールで受付

大学 web サイト
奨学金 春期募集



<https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/44586.html>

(申請に際しての注意事項)

①提出期限厳守

提出期限は厳守！してください。書類提出期限は再提出を含めた期限です。

提出期限当日に書類を窓口に出し、不備があった場合は書類を返却し申請は受け付けられません。

②スカラネット入力とは

各自がインターネットで日本学生支援機構の申込画面にアクセスし、インターネット入力を行うことにより申請が完了します。まず、申請書類を奨学金窓口に出し書類に不備がなければ、窓口で下書き用紙の返却とともに入力用 ID・パスワードをお渡ししますので、遅滞なく入力してください。

4. スカラネット下書き用紙の記入

OE-奨学金貸与額情報

第一種は4月が貸与始期。

第二種は4月～9月いずれかの月が貸与始期、有利子のため利率の算定方法（冊子12ページ参照）を選択する事。

在学生は入学時特別増額の希望不可。

OI-あなたの所得情報

定職、アルバイト、父母等からの給付額、奨学金（現在奨学金を受けている場合はその年額）、その他の収入金額を合わせた金額が、大学院の学費と同じくらいの収支になるよう記入してください。

5. 提出書類

※提供された申込情報は奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用され、その他の目的には利用されません。

書類名	備考								
確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書	本人自筆 「スカラネット入力下書き用紙」中央にあります。								
スカラネット入力用紙【用紙①】	該当事項をすべて記入								
【用紙②】収入計算書 ※冊子 P. 27～28 参照	※2022年と2023年の年収に変動がない場合は、前年用（表）と本年見込用（表）の収入の状況に「○」を付ける。 父母からの給付額がある場合は、前年用（裏）に父母等が記入								
2022年分の収入を証明する書類 ③ マイナンバーが記載されていない証明書を提出	<p>証明書は<u>下記いずれか一つ</u>をコピーにて提出。（※冊子 P. 27～28 参照）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>定職収入がある場合 (本人および配偶者それぞれ)</td> <td>・2022年分源泉徴収票 ・税務署の受付印のある確定申告書控 (第一表および第二表)</td> </tr> <tr> <td>アルバイト収入の場合</td> <td>アルバイト先の給与支払証明書、もしくは源泉徴収票</td> </tr> <tr> <td>奨学金を受けている場合</td> <td>奨学金受給額を証明する書類、もしくは貸与奨学金返還確認票</td> </tr> <tr> <td>父母等からの給付</td> <td>給付額の証明を【用紙②】収入計算書の裏面に、<u>父母等による自筆</u></td> </tr> </tbody> </table>	定職収入がある場合 (本人および配偶者それぞれ)	・2022年分源泉徴収票 ・税務署の受付印のある確定申告書控 (第一表および第二表)	アルバイト収入の場合	アルバイト先の給与支払証明書、もしくは源泉徴収票	奨学金を受けている場合	奨学金受給額を証明する書類、もしくは貸与奨学金返還確認票	父母等からの給付	給付額の証明を【用紙②】収入計算書の裏面に、 <u>父母等による自筆</u>
定職収入がある場合 (本人および配偶者それぞれ)	・2022年分源泉徴収票 ・税務署の受付印のある確定申告書控 (第一表および第二表)								
アルバイト収入の場合	アルバイト先の給与支払証明書、もしくは源泉徴収票								
奨学金を受けている場合	奨学金受給額を証明する書類、もしくは貸与奨学金返還確認票								
父母等からの給付	給付額の証明を【用紙②】収入計算書の裏面に、 <u>父母等による自筆</u>								
本人名義口座の通帳コピー	貯蓄口座・信託銀行・農協・ネットバンクは不可								

7. 第一種奨学金返還免除制度（冊子13ページ）

特に優れた業績により「奨学金の全部または一部が免除」される制度があります。

修了年度の12月頃、大学から申請対象者にポータル連絡します。